平成19年 国民健康・栄養調査結果の概要

健康局総務課生活習慣病対策室

I 調査の概要

1. 調査の目的

この調査は、健康増進法(平成14年法律第103号)に基づき、国民の身体の状況、栄養素等摂取量及び生活習慣の状況を明らかにし、国民の健康の増進の総合的な推進を図るための基礎資料を得ることを目的とする。

2. 調査対象及び客体

調査の対象は、平成19年国民生活基礎調査において設定された調査地区内の世帯の世帯員で、平成19年11月1日現在で満1歳以上の者とした。

調査の客体は、平成19年国民生活基礎調査において設定された調査地区から、層化無作為抽出した300単位区内の世帯及び世帯員とした。

調査実施世帯数は、3,586世帯であり、集計客体数は下記のとおりである。

総数	総 数	1-6歳	7-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上
身体状況調査	8,000	431	690	338	541	1,056	1,001	1, 183	1, 345	1, 415
血液検査	4, 018	-	-	-	207	590	558	714	937	1,012
栄養摂取状況調査	8, 885	488	795	393	665	1, 201	1, 107	1, 268	1, 426	1,542
生活習慣調査	8, 119	-	-	443	720	1,262	1,200	1, 399	1, 495	1,600

男性	総数	1-6歳	7-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上
身体状況調査	3,662	218	331	173	238	453	467	537	620	625
血液検査	1,625	-	_	-	89	200	210	265	413	448
栄養摂取状況調査	4, 164	243	392	201	304	540	537	587	664	696
生活習慣調査	3, 759	-	-	225	324	570	575	655	699	711

女 性	総数	1-6歳	7-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上
身体状況調査	4, 338	213	359	165	303	603	534	646	725	790
血液検査	2, 393	-	-	-	118	390	348	449	524	564
栄養摂取状況調査	4, 721	245	403	192	361	661	570	681	762	846
生活習慣調査	4, 360	-	-	218	396	692	625	744	796	889

3. 調查項目

- 1)身体状況調査票
 - ア. 身長、体重(満1歳以上)
 - イ. 腹囲 (満6歳以上)
 - ウ. 血圧 (満15歳以上)
 - 工. 血液検査 (満20歳以上)
 - オ. 1日の運動量〈歩数〉(満15歳以上)
 - カ. 問診〈服薬状況、運動〉(満20歳以上)
- 2) 栄養摂取状況調査票(満1歳以上)

世帯員各々の食品摂取量、栄養素等摂取量、食事状況〈欠食・外食等〉

3) 生活習慣調査票(満15歳以上)

食生活、身体活動・運動、休養(睡眠)、飲酒、喫煙、歯の健康等に関する生活習慣全般を把握した。特に平成19年調査では、健康日本21における「休養・睡眠」及び「糖尿病」分野推進の基礎データとするため、休養・睡眠の状況について把握するとともに、糖尿病の実態についても把握した。

4. 調査時期

- 1)身体状况調查:平成19年11月
- 2) 栄養摂取状況調査:平成19年11月の特定の1日(日曜日及び祝日は除く)
- 3) 生活習慣調査:栄養摂取状況調査日と同日

5. 調查方法

- 1) 身体状況調査:調査対象者を会場に集めて、調査員である医師、管理栄養士、保健師等が調査項目の計測及び問診を実施した。
- 2) 栄養摂取状況調査:世帯毎に調査対象者が摂取した食品を秤量記録すること

により実施し、調査員である管理栄養士等が調査票の説

明、回収及び確認を行った。

3) 生活習慣調査:留め置き法による自記式質問紙調査を実施した。

6. 調查系統

調査系統は次のとおりである。

厚生労働省ー都道府県・保健所設置市・特別区-保健所-国民健康・栄養調査員

この調査結果に掲載している数値は、四捨五入のため、内訳合計が総数に合わない ことがある。

Ⅱ 結果の概要 第1部 糖尿病等の状況

1. 糖尿病

表1 解析対象者

(人)

	総数	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	(再掲) 40-74歳
総数	4, 003	204	589	557	711	934	1, 008	2, 624
男性	1, 619	88	200	210	264	411	446	1, 082
女性	2, 384	116	389	347	447	523	562	1, 542

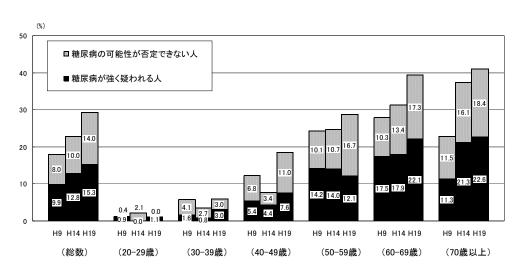
ヘモグロビンAlcの測定値がある者を解析対象とした。

1-1.「糖尿病が強く疑われる人」、「糖尿病の可能性が否定できない人」の状況

- ▼「糖尿病が強く疑われる人」、「糖尿病の可能性を否定できない人」の判定▼ (糖尿病実態調査(H9, H14) と同様の基準)
- ①「糖尿病が強く疑われる人」とは、ヘモグロビンA1cの値が6.1%以上、または、質問票で「現在糖尿病の治療を受けている」 と答えた人である。
- ②「糖尿病の可能性を否定できない人」とは、ヘモグロビンAlcの値が5.6%以上、6.1%未満で、①以外の人である。

図1 「糖尿病が強く疑われる人」、「糖尿病の可能性が否定できない人」の年次推移

[男]





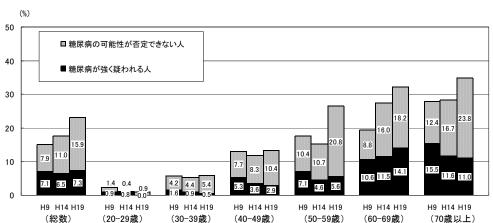


表2 「糖尿病が強く疑われる人」および「糖尿病の可能性が否定できない人」の割合

		総	数	20-2	29歳	30-	39歳	40-	49歳	50-	59歳	60-	69歳	70歳	以上	(再揭)	40-74歳
		実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
	糖尿病が 強く疑われる人	420	10. 5	1	0. 5	8	1.4	26	4. 7	57	8. 0	165	17. 7	163	16. 2	318	12. 1
	(うち服薬者) *	193	4. 8	1	0. 5	2	0.3	11	2. 0	13	1.8	88	9. 4	78	7. 7	149	5. 7
総数	糖尿病の可能性が 否定できない人	606	15. 1	1	0. 5	27	4. 6	59	10. 6	137	19. 3	166	17.8	216	21. 4	443	16. 9
	上記以外	2, 977	74. 4	202	99.0	554	94. 1	472	84. 7	517	72. 7	603	64. 6	629	62. 4	1,863	71.0
	総数	4, 003	100.0	204	100.0	589	100. 0	557	100.0	711	100.0	934	100.0	1, 008	100.0	2, 624	100.0
	糖尿病が 強く疑われる人	247	15. 3	1	1. 1	6	3. 0	16	7. 6	32	12. 1	91	22. 1	101	22. 6	186	17. 2
	(うち服薬者) *	120	7.4	1	1.1	2	1.0	8	3. 8	8	3.0	50	12. 2	51	11.4	94	8. 7
男性	糖尿病の可能性が 否定できない人	226	14. 0	0	0.0	6	3. 0	23	11.0	44	16. 7	71	17. 3	82	18. 4	170	15. 7
	上記以外	1, 146	70. 8	87	98. 9	188	94. 0	171	81.4	188	71. 2	249	60.6	263	59.0	726	67. 1
	総数	1, 619	100.0	88	100.0	200	100. 0	210	100.0	264	100.0	411	100.0	446	100.0	1, 082	100. 0
	糖尿病が 強く疑われる人	173	7. 3	0	0.0	2	0. 5	10	2. 9	25	5. 6	74	14. 1	62	11.0	132	8. 6
	(うち服薬者)*	73	3. 1	0	0.0	0	0.0	3	0. 9	5	1.1	38	7. 3	27	4. 8	55	3. 6
女性	糖尿病の可能性が 否定できない人	380	15. 9	1	0. 9	21	5. 4	36	10. 4	93	20. 8	95	18. 2	134	23. 8	273	17. 7
	上記以外	1, 831	76. 8	115	99. 1	366	94. 1	301	86. 7	329	73. 6	354	67.7	366	65. 1	1, 137	73.7
	総数	2, 384	100.0	116	100.0	389	100.0	347	100.0	447	100.0	523	100.0	562	100.0	1, 542	100.0

^{※「}服薬者」とは、質問票で「インスリン注射または血糖を下げる薬」の使用有と回答した者。

1-2.「糖尿病が強く疑われる人」、「糖尿病の可能性が否定できない人」の推計

今回の調査結果に平成19年10月1日現在推計の男女別、年齢階級別の20歳以上人口 (全体約1億400万人)を乗じて推計したところ、糖尿病が強く疑われる人は約890万人、 糖尿病の可能性が否定できない人を合わせると約2,210万人と推計された(表3)。

表3 「糖尿病が強く疑われる人」、「糖尿病の可能性が否定できない人の推計」 (平成19年)

	平成19年
「糖尿病が強く疑われる人」	約890万人
「糖尿病の可能性が否定できない人」	約1,320万人
「糖尿病が強く疑われる人」と「糖尿病の可能性が否定出来ない人」の合計	約2,210万人

(参考) 表 4 「糖尿病が強く疑われる人」、「糖尿病の可能性が否定できない人」の推計 (平成9年, 平成14年)

	平成9年	平成14年
「糖尿病が強く疑われる人」	約690万人	約740万人
「糖尿病の可能性が否定できない人」	約680万人	約880万人
「糖尿病が強く疑われる人」と「糖尿病の可能性が否定できない人」の合計	約1,370万人	約1,620万人

(参考)

本報では、「糖尿病の可能性が否定できない人」の判定を糖尿病実態調査(H9, H14)と同様の基準(ヘモグロビンA1cの値が5.6%以上、6.1%未満)を用いて行っているが、老人保健事業の健康診査では、ヘモグロビンA1c値5.5%以上を「要指導」としているため、

「糖尿病の可能性が否定できない人'」について、ヘモグロビンA1cの値が5.5%以上、6.1% 未満で判定した値についても参考値として示す。

表5 「糖尿病が強く疑われる人」および「糖尿病の可能性が否定できない人'」の割合 (「糖尿病の可能性を否定できない人'」のヘモグロビンA1cの値が5.5%以上、6.1%未満の場合)

※「服薬者」とは、質問票で「インスリン注射または血糖を下げる薬」の使用有と回答した者。

		総	数	20-2	29歳	30-3	39歳	40-	49歳	50-	59歳	60-	69歳	70歳	以上	(再掲)	40-74歳
		実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
	糖尿病が 強く疑われる人	420	10. 5	1	0. 5	8	1.4	26	4. 7	57	8. 0	165	17. 7	163	16. 2	318	12. 1
	(うち服薬者) *	120	3. 0	1	0.5	2	0.3	11	2. 0	13	1.8	88	9. 4	78	7.7	149	5. 7
総数	糖尿病の可能性が 否定できない人'	844	21. 1	3	1. 5	46	7. 8	86	15. 4	179	25. 2	234	25. 1	296	29. 4	614	23. 4
	上記以外	2, 739	68. 4	200	98. 0	535	90.8	445	79. 9	475	66.8	535	57. 3	549	54. 5	1, 692	64. 5
	総数	4, 003	100.0	204	100.0	589	100.0	557	100.0	711	100.0	934	100.0	1, 008	100.0	2, 624	100.0
	糖尿病が 強く疑われる人	247	15. 3	1	1. 1	6	3. 0	16	7. 6	32	12. 1	91	22. 1	101	22. 6	186	17. 2
	(うち服薬者) **	120	7. 4	1	1.1	2	1.0	8	3.8	8	3. 0	50	12. 2	51	11.4	94	8. 7
男性	糖尿病の可能性が 否定できない人'	314	19. 4	1	1.1	15	7. 5	33	15. 7	60	22. 7	92	22. 4	113	25. 3	227	21.0
	上記以外	1, 058	65. 3	86	97. 7	179	89. 5	161	76. 7	172	65. 2	228	55. 5	232	52. 0	669	61.8
	総数	1, 619	100.0	88	100.0	200	100.0	210	100.0	264	100.0	411	100.0	446	100.0	1, 082	100.0
	糖尿病が 強く疑われる人	173	7. 3	0	0.0	2	0. 5	10	2. 9	25	5. 6	74	14. 1	62	11.0	132	8. 6
	(うち服薬者)*	73	3. 1	0	0.0	0	0.0	3	0. 9	5	1.1	38	7. 3	27	4. 8	55	3. 6
女性	糖尿病の可能性が 否定できない人'	530	22. 2	2	1. 7	31	8. 0	53	15. 3	119	26. 6	142	27. 2	183	32. 6	387	25. 1
	上記以外	1, 681	70. 5	114	98. 3	356	91.5	284	81.8	303	67. 8	307	58. 7	317	56. 4	1, 023	66. 3
	総数	2, 384	100.0	116	100.0	389	100.0	347	100.0	447	100.0	523	100.0	562	100.0	1, 542	100.0

- ▼「糖尿病が強く疑われる人」、「糖尿病の可能性を否定できない人'」の判定▼
- ①「糖尿病が強く疑われる人」とは、ヘモグロビンAlcの値が6.1%以上、または、質問票で「現在糖尿病の治療を受けている」と答えた人である。
- ②「糖尿病の可能性を否定できない人'」とは、ヘモグロビンAlcの値が5.5%以上、6.1%未満で、①以外の人である。

1-3. 糖尿病が強く疑われる人における治療の状況

糖尿病が強く疑われる人における治療の状況において、現在治療を受けている者の割合は、平成9年、平成14年に比べて増加していた。

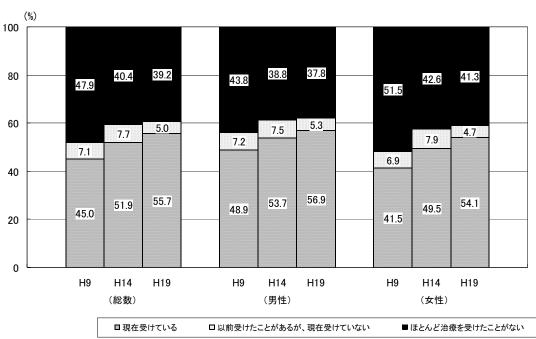
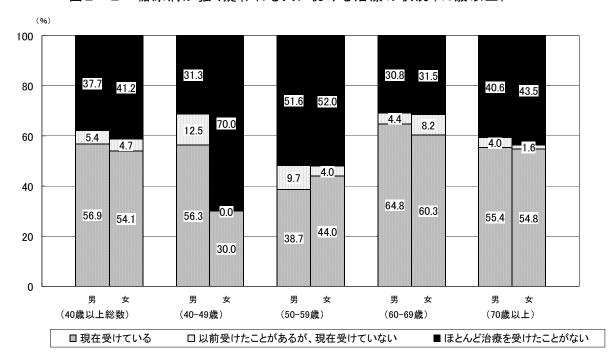


図2-1 糖尿病が強く疑われる人における治療の状況の年次推移(20歳以上)





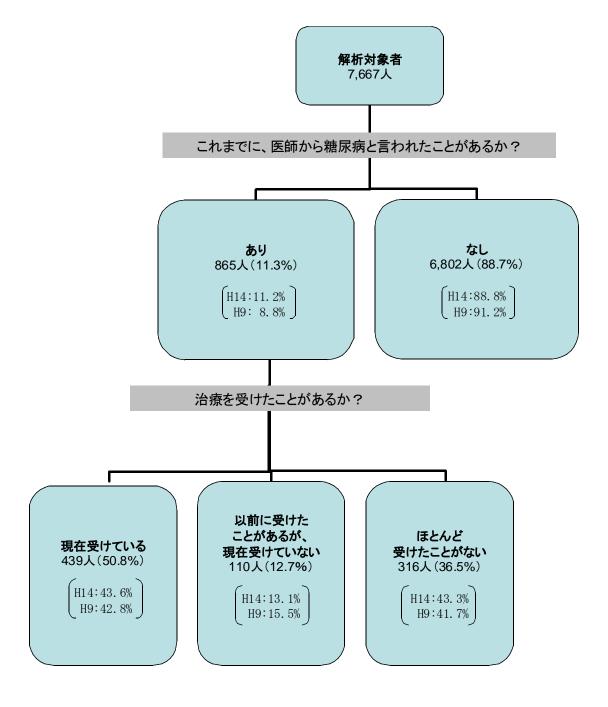
※本報告4頁で示した「糖尿病が強く疑われる者(ヘモグロビンAlcの値が6.1%以上、または、質問票で「現在糖尿病の治療を受けている」と答えた人)」について、「糖尿病の治療を受けたことがあるか」という問をまとめた結果である。

なお、図2-1及び図2-2の「ほとんど治療を受けたことがない」は、「医師から糖尿病と言われたことがない」者(男62名、女54名)を含む。

1-4. 糖尿病に関する医療サービス

医師から糖尿病と言われたことがある者(「境界型」、「糖尿病の気がある」、「糖尿病になりかけている」、「血糖値が高い」等のように言われた者も含む)は、平成14年と同水準だったが、「現在治療を受けている」者は増加していた。

図3 糖尿病に関する医療サービスの状況(20歳以上)

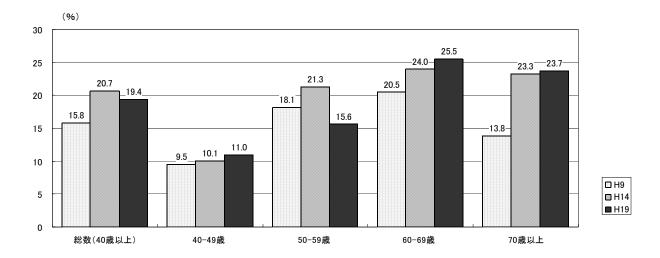


1-5. 医師から糖尿病と言われた者の状況

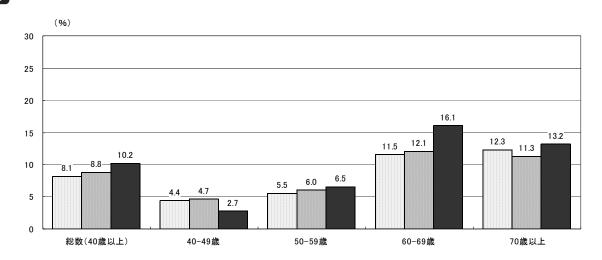
医師から糖尿病と言われた者(「境界型」、「糖尿病の気がある」、「糖尿病になりかけている」、「血糖値が高い」等のように言われた者も含む)の割合は、40歳以上で、男性19.4%、女性10.2%であった。

図4 医師から糖尿病と言われた人の割合の年次推移(40歳以上)

男



女



※「これまでに医師から糖尿病と言われたことがある」には、「境界型である」、「糖尿病の気がある」、「糖尿病になりかけている」、「血糖値が高い」等のように言われた人も含まれている。

1-6. 医師から糖尿病と言われた人における合併症の状況

「医師から糖尿病と言われた人における、治療経験別合併症の割合」は、神経障害が最も多く、11.8%であった。また、合併症がある者について、治療の状況を見ると、「現在治療を受けている」者が約7割。

表6 医師から糖尿病と言われた人における合併症の割合 (20歳以上 総数)

神経障害なし	神経障害あり	
757人 (88. 2%)	101人 (11, 8%)	
(00. 2/0)	(再掲) 現在治療を受けている	79人 (78. 2%)
	(再掲)以前治療を受けたことがあるが、 現在受けていない	10人 (9.9%)
	(再掲)ほとんど治療をうけたことがない	12人 (11. 9%)

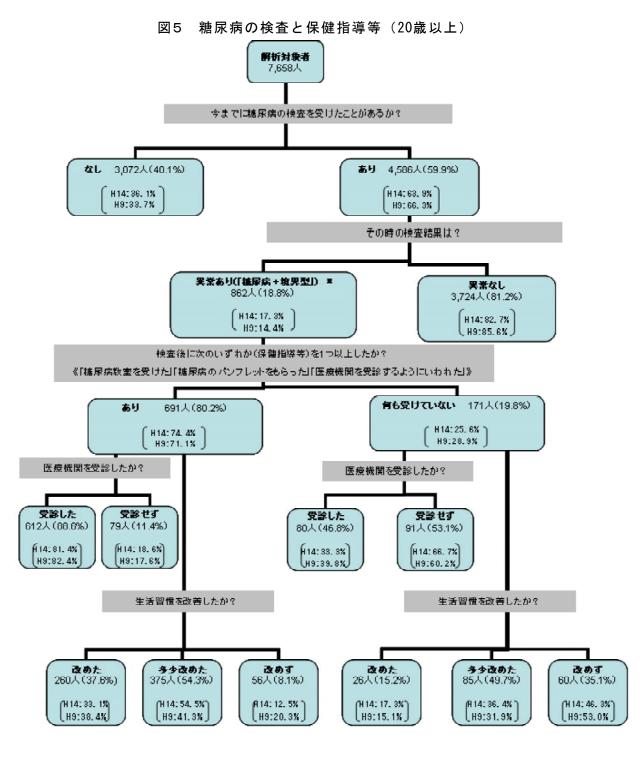
網膜症なし	網膜症あり	1	
766人 (89. 4%)	91人 (10.6%)		
	(再掲)	現在治療を受けている	67人 (73.6%)
	(再掲)	以前治療を受けたことがあるが、 現在受けていない	8人 (8.8%)
	(再掲)	ほとんど治療をうけたことがない	16人 (17.6%)

腎症なし	腎症あり		
760人	95人		
(88. 9%)	(11. 1%)		
	(再掲)	現在治療を受けている	70人 (73.7%)
	(再掲)	以前治療を受けたことがあるが、 現在受けていない	9人 (9.5%)
	(再掲)	ほとんど治療をうけたことがない	16人 (16.8%)

足壊疽なし	足壊疽あり	
850人 (99.3%)	6人 (0.7%)	
	(再掲)現在治療を受けている	4人 (66.7%)
	(再掲)以前治療を受けたことがあるが、 現在受けていない	1人 (16.7%)
	(再掲)ほとんど治療をうけたことがない	1人 (16. 7%)

1-7. 糖尿病の検査と保健指導等

これまでに健康診断などで糖尿病の検査を受けたことがあり、「糖尿病と言われた」者、「境界型」だった者において、検査後に、「糖尿病教室を受けた」、「糖尿病のパンフレットをもらった」、「医療機関を受診するようにいわれた」のいずれか1つ以上回答した者の割合は80.2%であった。そのうち、「生活習慣を改めた」と回答した者は約9割であった。



※ここでいう「異常あり」とは、「糖尿病である」、「境界型である」、「糖尿病の気がある」、「糖尿病になりかけている」、「血糖値が高い」などと言われた者を含む。

1-8. 糖尿病の予防や治療に関する情報源

糖尿病の予防や治療に関する情報源は、男女ともに、「テレビ・ラジオ」、「新聞」、「雑誌・本」と回答した者が多かった(複数回答可)(図6-1)。

項目別に見ると、「テレビ・ラジオ」「雑誌・本」と回答した者の割合は、 $40\sim60$ 歳代女性で特にが高かった。また、「健診・人間ドック」と回答した者の割合は、50歳以上男性で特に高かった(図6-2)。

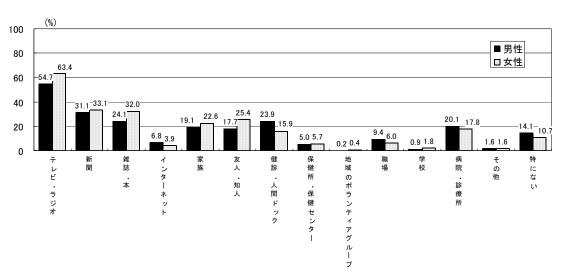
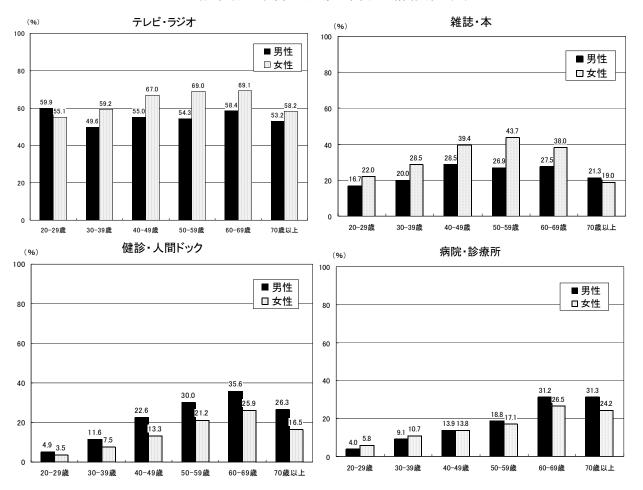


図6-1 糖尿病の予防や治療に関する情報源(20歳以上)



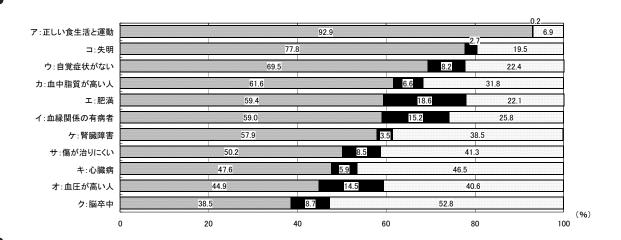


1-9. 糖尿病に関する知識の状況

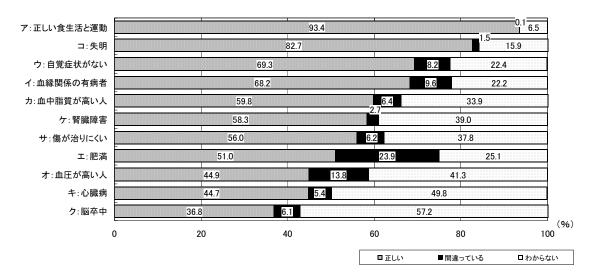
糖尿病に関する知識について、正答率が高かったものは、男女ともに、「正しい食生活と運動習慣は、糖尿病の予防に効果がある」、「糖尿病は成人における失明の原因になる」であった。

図7 糖尿病に関する知識の状況(20歳以上)

男



女



【質問項目】

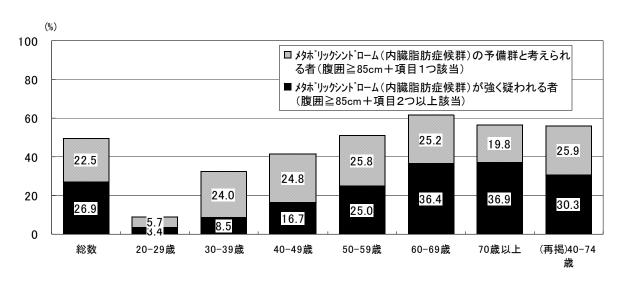
- ア. 正しい食生活と運動習慣は、糖尿病予防の効果がある
- イ. 血のつながった家族に糖尿病の人がいると、自分も糖尿病になりやすい
- ウ. 糖尿病になっても、自覚症状がないことが多い
- エ. 太っていると、糖尿病になりやすい
- オ. 糖尿病の人には、血圧の高い人が多い
- カ. 糖尿病の人には、血液中のコレステロールや中性脂肪が高い人が多い
- キ. 軽い糖尿病の人でも、狭心症や心筋梗塞などの心臓病になりやすい
- ク. 軽い糖尿病の人でも脳卒中になりやすい
- ケ. 糖尿病は腎臓障害の原因となる
- コ. 糖尿病は成人における失明の原因になる
- サ. 糖尿病の人は、傷が治りにくい

2. メタボリックシンドローム

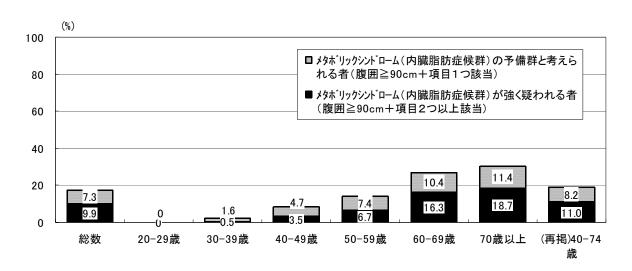
40~74歳でみると、男性の2人に1人、女性の5人に1人が、メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)が強く疑われる者又は予備群と考えられる者。

図8 メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)の状況 (20歳以上)

男



女



※各年代のメタボリックシンドローム (内臓脂肪症候群)が強く疑われる者と予備群と考えられる者について、平成19年10月1日現在推計の男女別、年齢階級別の40-74歳人口(全体約5,800万人中)を用い、それぞれ該当者、予備群として推計したところ、40~74歳におけるメタボリックシンドローム (内臓脂肪症候群)の該当者数は約1,070万人、予備群者数は約940万人、併せて約2,010万人と推定される。

(参考) 表 7 メタボリックシンドローム (内臓脂肪症候群) の該当者、予備群の推計 (平成16年, 平成17年, 平成18年)

※ただし、平成19年調査より、服薬状況の問に「中性脂肪を下げる薬」が追加された為、<u>平成19年の結果は平成18年以前の結果と単純比較できない</u>。

	平成16年	平成17年	平成18年
メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)が強く疑われる者(該当者)	約940万人	約920万人	約960万人
メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)の予備群と考えられる者	約1,020万人	約980万人	約980万人

"メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)の疑い"の判定

国民健康・栄養調査の血液検査では、空腹時採血が困難であるため、メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)の診断基準項目である空腹時血糖値及び中性脂肪値により判定はしない。したがって、本報告における判定は以下の通りとした。

メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)が強く疑われる者

腹囲が男性85cm、女性90cm以上で、3つの項目(血中脂質、血圧、血糖)のうち2つ以上の項目に 該当する者。

※ "項目に該当する"とは、下記の「基準」を満たしている場合、かつ/または「服薬」がある場合とする。

メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)の予備群と考えられる者

腹囲が男性85cm、女性90cm以上で、3つの項目(血中脂質、血圧、血糖)のうち1つに該当する者。

腹囲	腹囲(ウエスト周囲径)	男性: 85 cm以上	女性:90cm以上

項目	血中脂質	血圧	血糖
基準	・HDLコレステロール値 40mg/dl未満	·収縮期血圧値 130mmHg以上 ·拡張期血圧値 85mmHg以上	· <u>^もが��゙ンA1c値 5.5%以上</u>
服薬	・コレステロールを下げる薬服用 ・中性脂肪を下げる薬服用	・血圧を下げる薬服用	・血糖を下げる薬服用・インスリン注射使用

(参考: 厚生労働科学研究 健康科学総合研究事業「地域保健における健康診査の効率的なプロトコールに関する研究 ~ 健康対策指標検討研究班中間報告 ~ | 平成17年8月)

※老人保健事業の健康診査では、ヘモグロビンAlc値 5.5%以上を「要指導」としているため、メタボリックシンドローム (内臓脂肪症候群)の疑いに関する判定項目である血糖を"ヘモグロビンAlc値5.5%"とした。

(参考) メタボリックシンドロームの診断基準

(日本動脈硬化学会、日本糖尿病学会、日本高血圧学会、日本肥満学会、 日本循環器学会、日本腎臟病学会、日本血栓止血学会、日本内科学会、2005年4月)

(※上記との比較のため、記載方法を一部変更し、上記とほぼ同様の様式とした。)

メタボリックシンドローム

内臓脂肪(腹腔内脂肪)蓄積に加え、下記の2つ以上の項目に該当する場合。

※ "項目に該当する"とは、下記の「基準」を満たしている場合、かつ/または「服薬」がある場合とする。

内臓脂肪(腹腔内脂肪)蓄積 ウエスト周囲径 男性:85cm以上 女性:90cm以上 (内臓脂肪面積 100cm²以上に相当(男女とも))

項目	血中脂質	血圧	血糖
基準	 ・中性脂肪(TG)値 150mg/dl以上 (高トリグリセライド血症) ・HDLコレステロール値 40mg/dl未満 (低HDLコレステロール血症) 	-収縮期血圧値 130mmHg以上 -拡張期血圧値 85mmHg以上	·空腹時血糖值 110mg/dl以上
服薬	・高トリグリセライド血症に対する薬物治療・低HDLコレステロール血症に対する薬物治療	・高血圧に対する薬物治療	・糖尿病に対する薬物治療

- *CTスキャンなどで内臓脂肪量測定を行うことが望ましい。
- *ウエスト径は立位、軽呼気時、臍レベルで測定する。脂肪蓄積が著明で臍が下方に偏位している場合は肋骨下縁と前上腸骨棘の中点の高さで測定する。
- *メタボリックシンドロームと診断された場合、糖負荷試験が薦められるが診断には必須ではない。
- *糖尿病、高コレステロール血症の存在はメタボリックシンドロームの診断から除外されない。

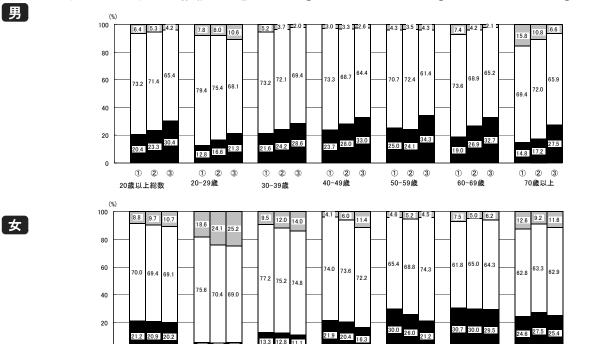
第2部 身体状況及び生活習慣等の状況

1. 肥満とやせの状況

男性では、全ての年齢階級において、肥満者の割合が20年前(昭和62年)、10年前(平成9年)と比べて増加傾向であった。

女性では、30~60歳代において肥満者の割合が20年前、10年前と比べて減少していた。また、20~40歳代においては低体重(やせ)が増加傾向であった。

図9-1肥満とやせの状況の推移(20歳以上)[①20年前(昭和62年)・②10年前(平成9年)・③平成19年〕



1 2 3

30-39歳

1 2 3

50-59歳

肥満

40-49歳

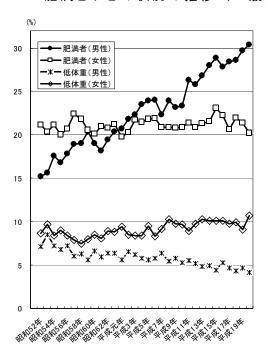
図9-2 肥満とやせの状況の推移(20歳以上)

1 2 3

20歳以上総数

1 2 3

20-29歳



肥満度: EMI (Body Mass Index) を用いて判定 (日本肥満学会肥満証準が基準検討委員会, 2000年) BMI = 体重[kg] / (身長[m]) により算出 EMI <18.5 低本重 (やせ) 18.5≦EMI <25 普通本重(正常) EMI ≥25 肥 満

普通体重

60-69歳

70歳以上

◎低体重(やせ)

(参考) 表8 肥満とやせの状況の推移 (20歳以上)

年次	肥湯	茜者	低体重	(やせ)	年次	肥湯	茜者	低体重	(やせ)
4次	男性	女性	男性	女性	+次	男性	女性	男性	女性
昭和51年	15. 2	21. 1	7. 1	8. 7	平成4年	23. 9	21.8	5. 6	9.5
昭和52年	15. 6	20. 4	8. 5	9. 7	平成5年	24. 0	21.9	5. 8	8.3
昭和53年	17. 6	21. 1	7. 2	8. 4	平成6年	22. 3	20. 9	6.4	9. 2
昭和54年	16. 8	20. 0	6. 8	9. 0	平成7年	23. 9	20. 9	5. 4	10.3
昭和55年	17. 8	20. 7	7. 2	8. 4	平成8年	23. 2	20.8	5.8	9.8
昭和56年	18. 9	22. 4	6. 0	7. 9	平成9年	23.3	20.9	5.3	9.7
昭和57年	19. 0	21.8	6. 3	7. 5	平成10年	26.3	21.4	5. 5	8.9
昭和58年	20. 4	20. 5	5. 6	8. 0	平成11年	25.8	20. 9	5. 2	9.8
昭和59年	19. 0	20. 1	6. 6	8. 5	平成12年	26.8	21.3	4. 8	10.3
昭和60年	18. 2	21. 0	5. 9	8. 1	平成13年	28.0	21.6	4. 9	10. 1
昭和61年	19. 4	20. 8	6. 4	8. 9	平成14年	28. 9	23. 1	4. 4	10. 1
昭和62年	20. 4	21. 2	6. 4	8. 8	平成15年	27.8	22. 2	5. 3	10. 1
昭和63年	20. 7	19. 8	5. 6	9. 4	平成16年	28. 4	20.6	4. 7	9.8
平成元年	21.8	20. 3	6. 5	8. 5	平成17年	28.6	22. 0	4. 3	9.9
平成2年	22. 3	21. 7	6. 2	8. 4	平成18年	29.7	21.4	4. 7	9.1
平成3年	23. 5	21.5	5. 8	8. 4	平成19年	30. 4	20. 2	4. 2	10. 7

2. 運動習慣者

日常生活における歩数の平均値は、男性で7,321歩、女性で6,267歩となっており、「健康日本21」の目標値である男性9,200歩、女性8,300歩に達していない。

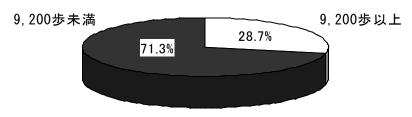
■ 男性 □ 女性 (%) 50 40.0 39.3 36.3 40 29.1 28.4 25.6 21.0 __24.7 30 22.7 18.8_16.3_ 21.6 16.1 -14.1-20 10 0 総数 20-29歳 30-39歳 40-49歳 50-59歳 60-69歳 70歳以上

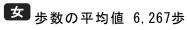
図10 運動習慣のある者の割合 (20歳以上)

運動習慣のある者:1回30分以上の運動を週2日以上実施し、1年以上継続している者

図11 歩数の平均値と分布割合(20歳以上)

男 歩数の平均値 7,321歩







(参考) 「健康日本21」の目標値 日常生活における歩数 成人男性 9,200歩以上 成人女性 8,300歩以上

3. 睡眠・休養の状況

3-1. 平均睡眠時間

総数

15-19歳

20-29歳

1日の平均睡眠時間は、男女ともに「6時間以上7時間未満」が最も多く、約4割であった。

(%) 1.5 3.2 1.8 0.3 1.8 1.9 0.9 100 4.2 5.4 6.2 5.9 8.1 11.3 10.7 18.9 19.1 19.4 19.6 19.1 80 22.8 22.2 22.0 26.8 60 43.5 41.9 39.2 28.0 42.2 44.6 38.3 40 39.1 23.0 26.2 23.9 24.5 20 21.8 19.6 21.5 15.3 10.7 8.6 8.7 8.4 7.7 4.9 2.7 4.2 6.0 0

30-39歳

40-49歳

50-59歳

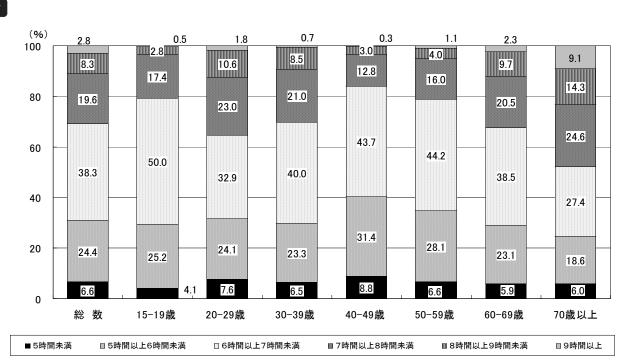
60-69歳

70歳以上

図12 1日の平均睡眠時間(15歳以上)

女

男

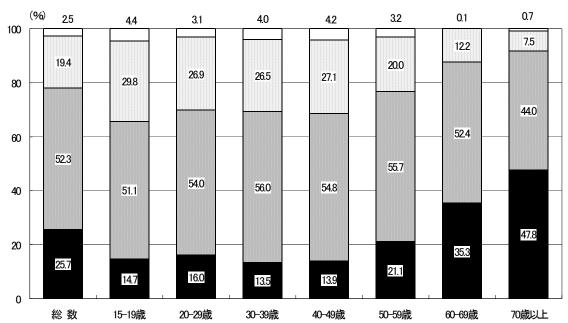


3-2. 睡眠で充分休養がとれている者の割合

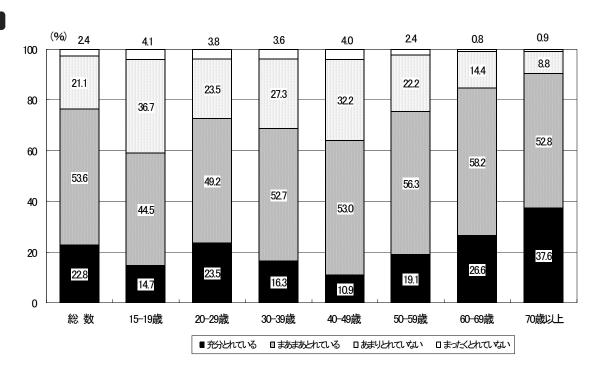
睡眠で充分休養がとれている者の割合において、「充分とれている」、「まあまあとれている」と回答した者の割合を合わせると、総数では男女ともに75%を超えていた。一方、15~40歳代では、「あまりとれていない」、「まったくとれていない」と回答した者が多かった。

図13 睡眠で充分休養がとれている者の割合(15歳以上)

男



女



参考)

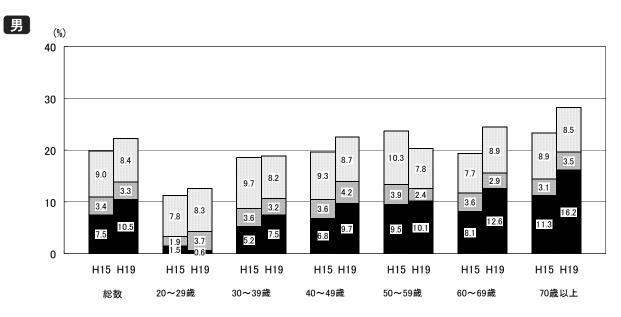
「健康日本21」の目標値 睡眠による休養を充分にとれていない人の割合 21%以下

<u>.....</u>;

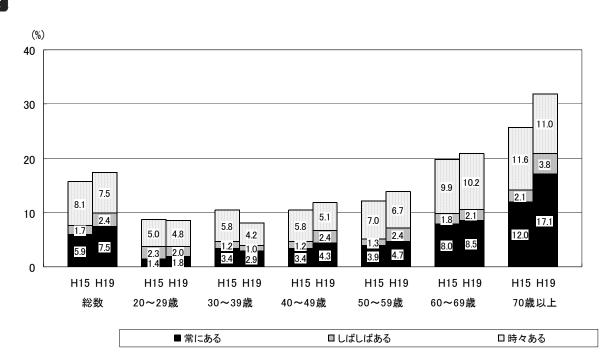
3-3. 眠るために睡眠薬や安定剤などの薬、お酒を使うことがある者の状況

眠るために睡眠薬や安定剤などの薬、もしくはお酒を使うことがある者の割合は、男性の50歳代、女性の20~30歳代を除いて、平成15年に比べ増加していた。

図14 眠るために睡眠薬や安定剤などの薬、もしくはお酒を使うことがある者の状況 (20歳以上)



女



(参考)

「健康日本21」の目標値

睡眠の確保のために補助品やアルコールを使うことのある人の割合 13%以下

表9 眠るために睡眠薬や安定剤などの薬を使うことがある者の状況 (15歳以上)

			総数 15-19		19歳	20-29歳		30-3	39歳	40-	49歳	50-	59歳	60-6	69歳	70歳	以上	
			実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
		全くない	3, 404	90. 6	223	99. 1	309	95. 4	541	94. 9	534	92. 9	616	94. 0	618	88. 4	563	79. 3
		めったにない	78	2. 1	2	0. 9	10	3. 1	11	1.9	7	1. 2	14	2. 1	14	2. 0	20	2. 8
	H19	時々ある	91	2. 4	0	0.0	2	0. 6	5	0.9	14	2. 4	8	1. 2	25	3. 6	37	5. 2
	1113	しばしばある	36	1.0	0	0.0	2	0. 6	3	0.5	1	0. 2	5	0. 8	10	1.4	15	2. 1
		常にある	149	4. 0	0	0.0	1	0. 3	10	1.8	19	3. 3	12	1.8	32	4. 6	75	10.6
男		総数	3, 758	100. 0	225	100.0	324	100.0	570	100. 0	575	100.0	655	100.0	699	100.0	710	100.0
性		全くない	4, 178	91.6	276	97. 9	516	98. 1	668	97. 0	626	94. 1	785	93. 3	691	88. 7	616	79. 3
		めったにない	93	2. 0	5	1.8	4	0.8	6	0.9	15	2. 3	14	1.7	21	2. 7	28	3. 6
	H15	時々ある	103	2. 3	1	0.4	3	0. 6	2	0.3	5	0.8	13	1. 5	24	3. 1	55	7. 1
	mis	しばしばある	35	0.8	0	0.0	2	0. 4	2	0.3	2	0.3	7	0.8	8	1.0	14	1.8
		常にある	150	3. 3	0	0.0	1	0. 2	11	1.6	17	2. 6	22	2. 6	35	4. 5	64	8. 2
		総数	4, 559	100. 0	282	100.0	526	100.0	689	100. 0	665	100.0	841	100.0	779	100.0	777	100.0
		全くない	3, 713	85. 2	214	98. 2	379	95. 7	666	96. 2	585	93. 6	653	87. 9	630	79. 1	586	65. 9
		めったにない	130	3.0	3	1.4	6	1. 5	10	1.4	15	2. 4	23	3. 1	33	4. 1	40	4. 5
	H19	時々ある	196	4. 5	1	0. 5	6	1. 5	7	1.0	9	1.4	28	3. 8	61	7. 7	84	9. 4
	шэ	しばしばある	67	1.5	0	0.0	2	0. 5	3	0.4	4	0.6	13	1.7	13	1.6	32	3. 6
		常にある	253	5.8	0	0.0	3	0.8	6	0.9	12	1. 9	26	3. 5	59	7. 4	147	16. 5
女		総数	4, 359	100.0	218	100.0	396	100.0	692	100.0	625	100.0	743	100.0	796	100.0	889	100.0
性		全くない	4, 501	86. 1	287	96. 6	549	95. 5	699	94. 1	671	94. 0	855	90. 4	689	78. 1	751	70. 1
		めったにない	190	3.6	5	1. 7	12	2. 1	16	2. 2	17	2. 4	23	2. 4	48	5. 4	69	6. 4
	H15	時々ある	231	4. 4	2	0. 7	5	0. 9	11	1.5	10	1.4	32	3. 4	66	7. 5	105	9.8
	піэ	しばしばある	49	0.9	1	0.3	3	0. 5	2	0.3	5	0. 7	7	0. 7	13	1.5	18	1. 7
		常にある	257	4. 9	2	0.7	6	1. 0	15	2. 0	11	1.5	29	3. 1	66	7. 5	128	12. 0
		総数	5, 228	100. 0	297	100.0	575	100.0	743	100.0	714	100.0	946	100.0	882	100.0	1, 071	100.0

表10 眠るためにお酒を使うことがある者の状況(20歳以上)

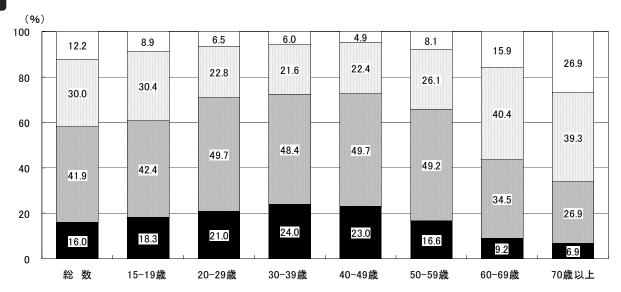
			総	数	20-2	29歳	30-3	39歳	40-	49歳	50-	59歳	60-	69歳	70歳	以上
			実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
		全くない	2, 567	73. 0	251	77. 7	411	72. 5	395	68.8	461	70. 6	495	71. 3	554	78. 6
		めったにない	370	10. 5	36	11. 1	63	11.1	70	12. 2	72	11.0	80	11.5	49	7. 0
	H19	時々ある	254	7. 2	25	7. 7	44	7.8	43	7. 5	50	7.7	48	6. 9	44	6. 2
	піэ	しばしばある	89	2. 5	10	3. 1	16	2. 8	23	4. 0	15	2. 3	13	1. 9	12	1. 7
		常にある	236	6. 7	1	0.3	33	5. 8	43	7. 5	55	8. 4	58	8. 4	46	6. 5
男		総数	3, 516	100.0	323	100. 0	567	100.0	574	100.0	653	100.0	694	100.0	705	100.0
性		全くない	3, 104	72. 9	415	79. 3	499	72. 6	463	69. 7	537	64. 1	565	72. 6	625	81. 2
		めったにない	535	12. 6	53	10. 1	70	10. 2	87	13. 1	130	15. 5	118	15. 2	77	10.0
	H15	時々ある	325	7. 6	39	7. 5	68	9. 9	61	9. 2	83	9. 9	43	5. 5	31	4. 0
	піз	しばしばある	117	2. 7	9	1.7	24	3.5	22	3. 3	29	3. 5	21	2. 7	12	1.6
		常にある	179	4. 2	7	1.3	26	3.8	31	4. 7	59	7. 0	31	4. 0	25	3. 2
		総数	4, 260	100.0	523	100. 0	687	100.0	664	100.0	838	100.0	778	100.0	770	100.0
		全くない	3, 655	88. 6	350	88. 6	601	87. 2	532	85. 1	655	88. 4	703	88. 8	814	92. 1
		めったにない	222	5. 4	17	4. 3	43	6. 2	39	6. 2	41	5. 5	49	6. 2	33	3. 7
	H19	時々ある	152	3.7	17	4. 3	26	3.8	27	4. 3	29	3. 9	25	3. 2	28	3. 2
	1113	しばしばある	39	0.9	7	1.8	5	0.7	12	1. 9	6	0.8	6	0.8	3	0.3
		常にある	58	1.4	4	1.0	14	2. 0	15	2. 4	10	1.3	9	1.1	6	0. 7
女		総数	4, 126	100. 0	395	100. 0	689	100. 0	625	100.0	741	100.0	792	100.0	884	100.0
性		全くない	4, 235	86. 9	480	83. 8	627	84. 6	576	81. 2	814	86. 7	775	89. 6	963	92. 1
		めったにない	352	7. 2	56	9.8	60	8. 1	71	10.0	69	7.3	50	5. 8	46	4. 4
	H15	時々ある	204	4. 2	25	4. 4	35	4.7	45	6. 3	41	4. 4	29	3.4	29	2. 8
	1113	しばしばある	43	0.9	10	1.7	9	1. 2	8	1.1	6	0.6	4	0.5	6	0.6
		常にある	39	0.8	2	0.3	10	1.3	9	1. 3	9	1.0	7	0.8	2	0. 2
		総数	4, 873	100.0	573	100. 0	741	100. 0	709	100.0	939	100.0	865	100.0	1, 046	100. 0

3-4. ストレスの状況

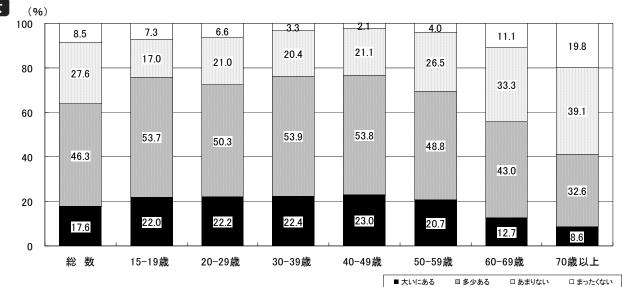
ストレスの状況は、「大いにある」、「多少ある」と回答した者は、男女ともに、 20~40歳代で7割を超えていた。

図15 ストレスの状況(15歳以上)

男







3-5. ストレスの対処法

「ストレスの対処法」は、男女ともに、「趣味を楽しんだり、リラックスする」、 「テレビを見たり、ラジオを聞く」者の割合が多かった。

また、男性では、女性に比べて「酒を飲む」、「たばこを吸う」者の割合が多い特徴があった。一方、女性では、男性に比べて「家族や友人に悩みを聞いてもらう」、「なんとかなると楽観的に考える」、「食べる」者の割合が多い特徴があった。

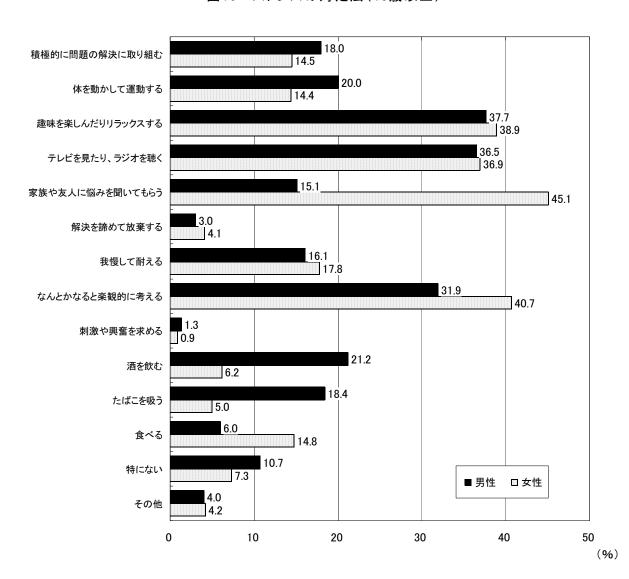


図16 ストレスの対処法(15歳以上)

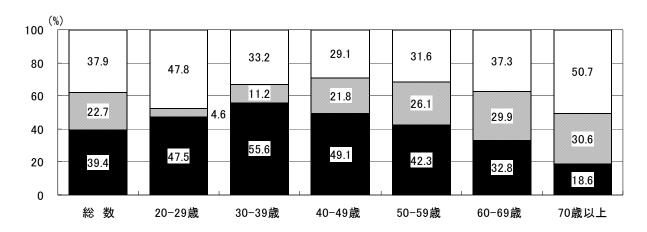
※「酒を飲む」、「たばこを吸う」は20歳以上の総数

4. 喫煙の状況

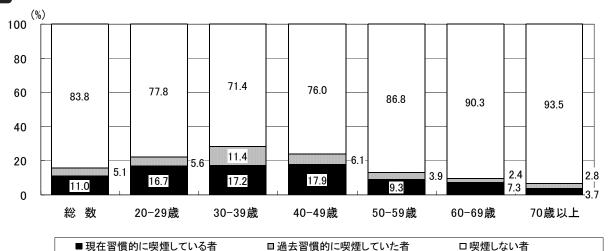
現在習慣的に喫煙している者の割合は、男女ともに20~40歳代が高く、 男性で約5割、女性で約2割。

図17-1 喫煙の状況(20歳以上)

男



女



現在習慣的に喫煙している者:

これまで合計100本以上又は6ヶ月以上たばこを吸っている(吸っていた)者のうち、「この 1ヶ月間に毎日又は時々たばこを吸っている」と回答した者

過去習慣的に喫煙していた者:

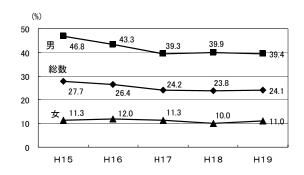
これまで合計100本以上又は6ヶ月以上たばこを吸っている(吸っていた)者のうち、「この1ヶ月間にたばこを吸っていない」と回答した者

喫煙しない者:

「まったく吸ったことがない」又は「吸ったことはあるが、合計100本未満で6ヶ月未満である」と回答した者

現在習慣的に喫煙している者の割合は、男性では減少傾向にあるものの依然として約4割であり、女性は横ばいで、約1割であった。

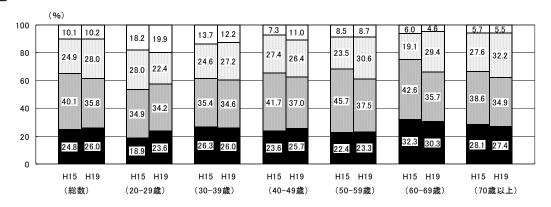
図17-2 現在習慣的に喫煙している者の年次推移(20歳以上)



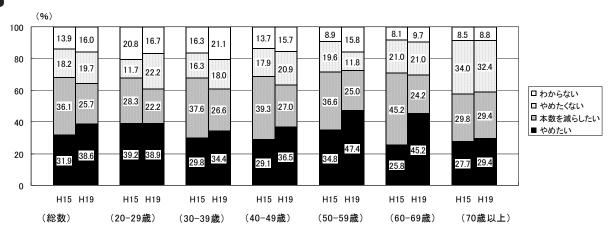
「たばこをやめたい」と回答した者の割合は、男性26.0%、女性38.6%であり、平成15年に比べて増加傾向であった。

図18 禁煙希望の状況 (20歳以上)

男



女



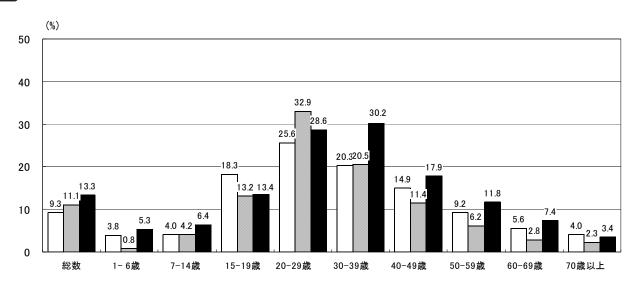
第3部 食生活の状況

1. 朝食欠食の状況

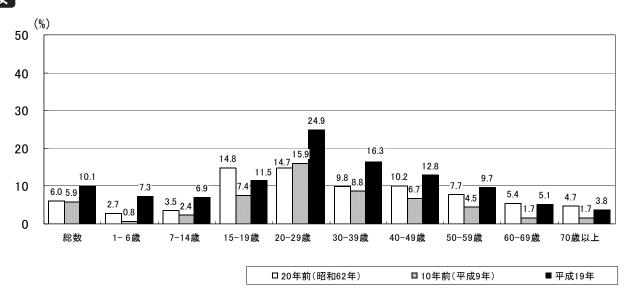
朝食欠食の状況を年次推移でみると、男女ともに高くなる傾向であり、平成19年では、男性は30歳代で最も高く約3割、女性は20歳代で最も高く約2.5割。

図19 朝食欠食の状況(1歳以上)

男



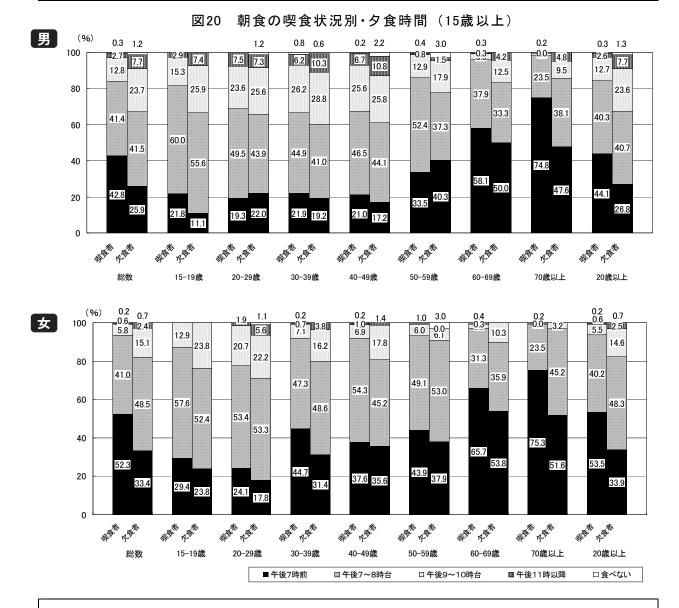
女



本報告でいう、「欠食」は、下記の3つの場合である。

- ・菓子、果物、乳製品、嗜好飲料などの食品のみを食べた場合
- ・錠剤などによる栄養素の補給、栄養ドリンク剤のみの場合
- ・食事をしなかった場合

朝食の喫食状況別に夕食時間を見ると、男女ともに、朝食をとっている者は朝食をとっていない者に比べ、午後8時台までに夕食を摂っている者の割合が高かった。



朝食の喫食別に野菜摂取量をみると、野菜を350g以上食べている者の割合は、朝食喫食者で32.5%、朝食欠食者で16.3%であった。



図21 朝食の喫食状況別・野菜摂取量の分布割合(20歳以上)

2. エネルギー摂取量及び脂肪エネルギー比率

エネルギー摂取量の平均値の年次推移は、男女ともに減少傾向。 脂肪エネルギー比率が30%以上の者の割合は、20歳以上の男性で約2割、 女性で約3割。

エネルギー摂取量の平均値の年次推移(20歳以上) 図22

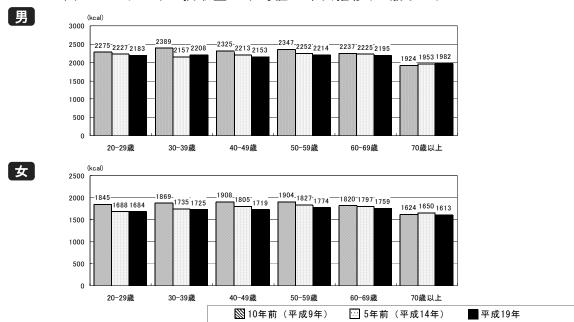
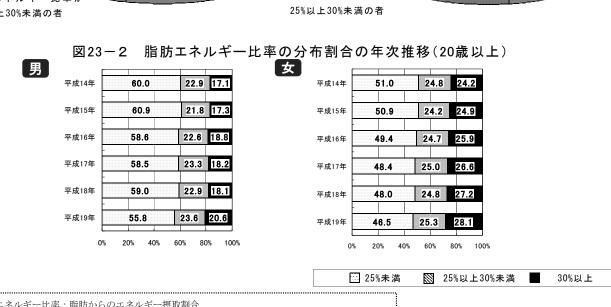


図23-1 脂肪エネルギー比率の分布割合(20歳以上)





脂肪エネルギー比率:脂肪からのエネルギー摂取割合

(参考) 日本人の食事摂取基準 (2005年版): 脂肪エネルギー比率の目標量

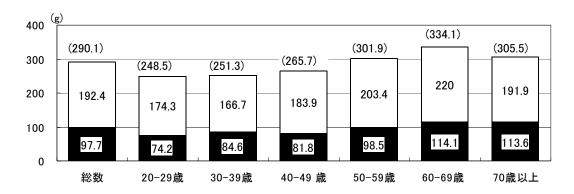
18~29歳:20%以上30%未満,30~69歳:20%以上25%未満,70歳以上:15%以上25%未満

3. 野菜摂取量

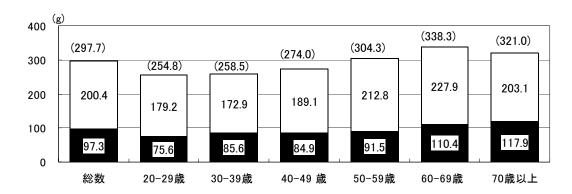
野菜摂取量の平均値は290gであり、「健康日本21」の目標値である350gに達していない。

図24 野菜類摂取量の平均値(20歳以上)

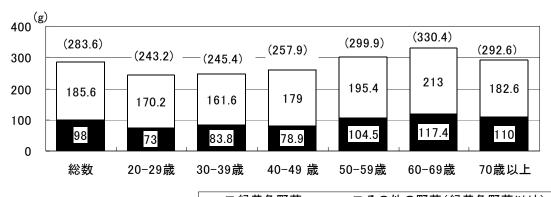




男



[女]



■ 緑黄色野菜 □ その他の野菜(緑黄色野菜以外)

()内は、「緑黄色野菜」及び「その他の野菜(野菜類のうち緑黄色野菜以外)」摂取量の合計。

(参考)

「健康日本21」の目標値 1日あたりの野菜の平均摂取量の増加 350g以上

4. 食塩摂取量

食塩摂取量の平均値は、男性で12.0g、10.3gとなっており、食塩摂取の目標量である男性10g未満、女性8g未満に達していない(図25-1)。

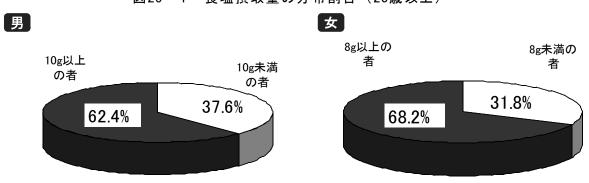
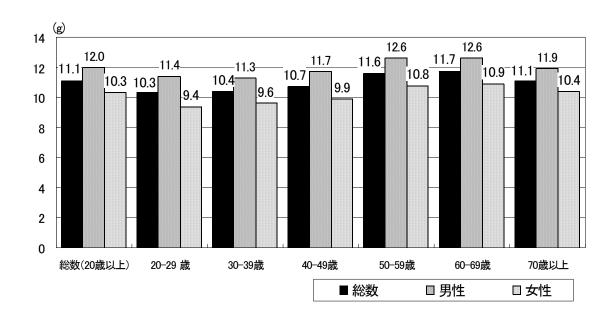


図25-1 食塩摂取量の分布割合(20歳以上)





食塩摂取量(g) = ナトリウム(mg)× 2.54 / 1,000

(参考) 日本人の食事摂取基準 (2005年版) 食塩摂取の目標量 成人男性 10g未満 成人女性 8g未満

栄養素等摂取量(1日当たり平均)(総数)-性・年齢階級別-表11-1

		総 数	1- 6歳	7-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上	(再掲)20歳以上
調査人数		8, 885	488	795	393	665	1, 201	1, 107	1, 268	1, 426	1,542	7, 209
エネルギー	kcal	1, 898	1, 329	1, 985	2, 163	1, 912	1, 942	1, 930	1, 978	1, 962	1, 779	1, 913
たんぱく質	g	69. 8	46. 7	71.4	78. 1	69. 2	68. 9	69. 3	73. 8	74. 6	68. 0	70. 8
うち動物性	g	38. 0	27. 0	41.6	46. 5	38. 6	36. 9	37.8	39. 8	39. 3	35. 3	37. 8
脂質	g	55. 1	43. 0	66. 4	71.9	60.5	59. 2	57. 1	56. 6	51. 3	43. 9	53. 7
うち動物性	g	27. 7	22. 4	36. 2	37. 7	29. 9	29. 3	28. 6	27. 2	25. 3	22. 3	26. 6
炭水化物	g	264. 1	185. 3	268. 6	290. 5	258. 4	264. 1	260. 9	270. 7	280. 0	264. 4	267. 5
食塩 (ナトリウム×2.54/1,000)	g	10. 6	6. 2	9.4	10.6	10.3	10. 4	10. 7	11.6	11. 7	11.1	11.1
カリウム	mg	2, 306	1, 513	2, 249	2, 194	2, 035	2, 102	2, 174	2, 468	2, 673	2, 513	2, 372
カルシウム	mg	531	438	667	536	459	464	469	531	584	568	522
カルシウム(通常の食品:再掲) カルシウム(補助食品:再掲)	mg	524 4	435 0	662	534 0	456 0	460 2	463 3	523 5	577 6	555 9	515 5
	mg mg	3	2	4	2	2	1	3	3	2	5	3
マグネシウム	mg	247	151	227	232	221	233	240	267	286	264	256
リン	mg	1, 000	713	1. 086	1, 076	946	961	970	1. 045	1. 079	994	1, 006
鉄	mg	7. 9	4. 7	6. 9	7. 8	7.4	7.7	7. 5	8. 5	9. 1	8. 5	8. 3
鉄(通常の食品:再掲)	mg	7. 8	4. 7	6. 9	7.8	7.4	7.4	7.4	8. 4	9. 0	8. 4	8. 1
鉄(補助食品:再掲)	mg	0. 1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0. 1	0. 1	0. 2	0.0	0.1
鉄(強化食品:再掲)	mg	0. 0	0. 0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0. 0	0.0	0.0
亜鉛	mg	8. 2	5. 6	8. 7	9. 6	8. 3	8. 3	8. 2	8. 4	8. 5	7. 9	8. 2
銅	mg	1.16	0. 71	1.08	1. 18	1. 10	1. 12	1. 13	1. 24	1. 31	1. 23	1. 20
ビタミンA(レチノール当量)	μ gRE	615	413	612	686	616	558	573	607	685	677	625
ビタミンD	μg	7. 6	3. 6	5. 2	6.4	6. 7	5.9	7. 2	9. 3	9. 8	9. 2	8. 2
ビタミンE (α-トコフェロール量)	mg-α-TE	8. 6	4.7	6.5	8.1	7.1	7.9	8.5	9. 2	9.5	10.9	9.1
ビタミンE (通常の食品:再掲) ビタミンE (補助食品:再掲)	mg-α-TE	6. 9 1. 7	4. 7 0. 0	6. 5 0. 0	7. 3 0. 8	6. 7 0. 4	6. 7 1. 0	6. 7 1. 8	7. 5 1. 5	7. 6 1. 9	6. 8 4. 1	7. 1 2. 0
ビタミンE (補助良品: 再掲) ビタミンE (強化食品: 再掲)	$mg-\alpha-TE$ $mg-\alpha-TE$	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.2	0.0	0.1	0.0	0.0	0. 1
ビタミンK	μg	235	123	184	214	199	220	210	257	292	274	249
ビタミンB,	mg	1. 43	0. 59	1. 23	1. 19	1. 21	1. 21	1. 26	1. 45	1. 67	2. 03	1. 53
ビタミンB,(通常の食品:再掲)	mg	0.87	0. 59	1. 14	1. 01	0. 89	0. 85	0. 86	0.87	0. 88	0. 80	0. 85
ビタミンB (補助食品:再掲)	mg	0. 55	0.00	0. 09	0. 18	0. 31	0. 35	0. 38	0. 58	0. 78	1. 22	0. 66
ビタミンB _, (強化食品:再掲)	mg	0. 01	0.00	0.00	0.00	0. 01	0. 01	0. 02	0.00	0. 01	0. 01	0. 01
ビタミンB ₂	mg	1.46	0.86	1. 35	1. 51	1. 41	1. 38	1. 33	1. 59	1. 57	1. 64	1. 51
ビタミンB₂(通常の食品:再掲)	mg	1. 17	0.86	1. 30	1. 28	1. 13	1. 11	1. 10	1. 20	1. 26	1. 20	1. 18
ビタミンB₂(補助食品:再掲)	mg	0. 28	0.00	0.06	0. 23	0. 27	0. 27	0. 22	0.39	0.30	0. 43	0. 32
ビタミンB₂(強化食品:再掲)	mg	0. 01	0.00	0.00	0.00	0. 01	0. 00	0. 01	0.00	0. 01	0. 01	0. 01
ナイアシン	mgNE	15. 0	7. 9	12. 2	14. 9	14. 9	15. 2	15.8	16. 9	16. 9	14. 7	15. 8
ビタミンB。	mg	1. 67	0. 71	1. 12	1. 43	1. 42	1. 42	1. 46	1. 72	2. 03	2. 40	1. 81
ビタミンB。(通常の食品:再掲)	mg	1. 13	0. 70	1. 03	1. 12	1. 05	1. 06	1. 09	1. 21	1. 29	1. 19	1. 16
ビタミンB。(補助食品:再掲)	mg	0. 54	0.00	0.09	0. 29	0. 36	0. 36	0. 36	0.50	0. 73	1. 19	0. 63
ビタミンB。(強化食品:再掲)	mg	0.01	0.00	0.00	0. 01	0. 01	0. 01	0. 01	0.00	0. 01	0. 02	0. 01
ビタミンB12	μg	7. 1	3. 8	5.8	6. 4	6. 7	5. 9	6. 6	7. 9	8. 7	7. 9	7. 5
葉酸	μд	299	160	241	270	267	266	275	325	365	352	316
パントテン酸	mg	5. 46	4. 03	6. 09	6. 07	5. 18	5. 25	5. 21	5. 57	5. 83	5. 47	5. 46
ビタミンC ビタミンC (通常の食品:再掲)	mg	113 96	55 52	81	100	99	90	100	131	148	137	121
ビダミンC (補助食品:再掲)	mg mg	13	52 1	73 2	77 14	77 9	73 12	79 16	109 17	130 15	120 16	102
ビグミン C (強化食品:再掲)	mg	4	2	6	9	14	5	5	4	2	1	4
コレステロール	mg	323	239	343	425	341	327	331	337	323	289	322
食物繊維総量	g	14. 0	8. 3	12. 8	12. 7	12. 3	12. 7	12. 8	15. 0	16. 7	15. 9	14. 5
うち水溶性	g	3. 4	2. 1	3. 3	3. 1	3. 0	3. 1	3. 1	3. 5	3. 9	3.8	3. 5
うち不溶性	g	10. 6	6. 2	9. 6	9. 6	9. 3	9. 6	9. 7	11.4	12. 8	12. 1	11. 1
脂肪エネルギー比率	%	25. 8	28. 5	29. 9	29. 6	28. 1	27. 1	26. 5	25. 5	23. 4	21.9	25. 0
炭水化物エネルギー比率	%	59. 3	57. 5	55. 6	55. 8	57.3	58. 5	58. 9	59. 4	61.3	62. 8	60. 1
動物性たんぱく質比率	%	52. 5	55. 5	57. 2	58. 0	53. 2	51.8	52. 9	51.9	50.8	49. 6	51.4
表中の「通常の食品」「強化食品」「補助食品」は次のとおりである。 通常の食品:通常の食品からの摂取 強化食品の強化分:通常の食品に強化されている部分からの摂取												
•	(例: ス	コルシ	ウム油	化生物	鉄青	治化コ	ーグル	トたレ	の強ん	レム		

(例:カルシウム強化牛乳、鉄強化ヨーグルトなどの強化分

補助食品:顆粒、錠剤、カプセル、ドリンク状の製品からの摂取

栄養素等摂取量(1日当たり平均)(男性)-性・年齢階級別-表11-2

		総数	1- 6歳	7-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上	(再掲)20歳以上
調査人数	人	4, 164	243	392	201	304	540	537	587	664	696	3, 328
エネルギー	kcal	2, 114	1, 389	2, 103	2, 440	2, 183	2, 208	2, 153	2, 214	2, 195	1, 982	2, 148
たんぱく質	g	76. 2	48. 8	75. 3	87. 5	76. 7	76. 6	75. 8	80. 5	80. 9	74. 8	77. 7
うち動物性	g	42. 0	28. 1	44. 1	52. 4	43. 0	42. 0	41. 8	44. 4	43. 1	39. 3	42. 1
脂質	g	59. 4	43. 8	69. 6	78. 2	66. 3	65. 1	60. 6	61. 1	55. 3	47. 8	58. 2
うち動物性	g	30. 5	22. 4	38. 3	42. 1	33. 2	33.0	30. 9 290. 4	30. 2	27. 5	25. 1	29. 4
炭水化物 食塩 (ナトリウム×2.54/1,000)	g	291. 7	195. 9 6. 5	286. 1 9. 8	333. 6 11. 7	300. 2 11. 4	299. 3	11. 7	296. 8 12. 6	306. 7 12. 6	289. 1 11. 9	296. 8 12. 0
カリウム	mg	2, 398	1, 571	2, 356	2, 329	2, 181	2, 204	2, 266	2, 518	2, 742	2, 650	2, 468
カルシウム	mg	540	456	711	578	475	451	472	517	589	587	524
カルシウム(通常の食品:再掲)	mg	536	451	703	577	474	450	468	512	584	579	520
カルシウム(補助食品:再掲)	mg	2	0	1	0	1	1	2	3	3	5	3
カルシウム(強化食品:再掲)	mg	2	4	7	1	0	0	2	3	1	3	2
マグネシウム	mg	262	158	238	248	241	250	257	279	301	284	273
リン	mg	1, 076	744	1, 140	1, 192	1, 030	1, 042	1, 046	1, 115	1, 158	1, 078	1, 085
鉄	mg	8. 2	4. 9	7. 3	8. 4	7. 8	8. 0	8. 0	8. 7	9. 4	9. 0	8. 6
鉄(通常の食品:再掲)	mg	8. 2	4. 8	7. 2	8. 4	7.8	8. 0	7. 9	8. 7	9. 3	8.9	8. 5
鉄(補助食品:再掲) 鉄(強化食品:再掲)	mg mg	0.0	0. 0	0.0	0.0	0. 0	0.0	0. 1 0. 0	0. 0	0. 1	0.0	0. 0 0. 0
	mg	9.0	5. 8	9.3	11. 0	9.4	9.4	9. 1	9. 2	9. 3	8.6	9. 1
銅	mg	1. 26	0. 75	1. 13	1. 32	1. 23	1. 24	1. 25	1. 32	1.40	1. 33	1. 31
ビタミンA (レチノール当量)	μ gRE	641	419	618	805	603	592	630	601	674	750	650
ビタミンD	μд	8. 2	3. 7	5. 7	6. 6	6. 7	6.3	7. 3	10. 1	10. 9	10. 1	8. 9
ビタミンE (α-トコフェロール量)	mg- $lpha$ -TE	8. 4	4. 9	6. 7	9. 3	7. 9	7.4	8. 1	9. 5	9. 1	9. 9	8. 8
ビタミンE (通常の食品:再掲)	$mg-\alpha-TE$	7. 2	4. 8	6. 7	7. 6	7. 3	7. 1	7. 0	7. 7	7. 9	7.2	7. 4
ビタミンE (補助食品:再掲)	mg- $lpha$ -TE	1. 2	0. 0	0.0	1. 6	0. 6	0.3	1.1	1.8	1. 2	2. 8	1. 4
ビタミンE(強化食品:再掲)	mg- α -TE	0.0	0. 1	0. 0	0.0	0.0	0.0	0. 0	0.0	0.0	0.0	0. 0
ビタミンK	μg	239	131	195	229	200	229	219	252	294	283	253
ビタミンB,	mg	1.36	0. 61	1. 28	1. 42	1. 39	1. 23	1. 25	1. 42	1. 44	1. 71	1. 42
ビタミンB (通常の食品:再掲)	mg	0.94	0. 61	1. 20	1. 11	1.00	0. 93	0.92	0. 93	0. 93	0. 87	0. 92
ビタミンB ₁ (補助食品:再掲)	mg	0. 42	0.00	0.07	0. 31	0.38	0. 29	0.31	0. 49	0. 51	0. 83	0. 49
ビタミンB ₁ (強化食品:再掲)	mg	0.01	0.00	0.00	0.00	0. 01 1. 43	0. 01	0.02	0.00	0.00	0. 01	0. 01
ビタミンB ₂ ビタミンB ₂ (通常の食品:再掲)	mg	1. 45	0. 91	1. 38	1. 75 1. 36	1. 43	1. 34	1. 39	1. 62 1. 22	1. 57	1. 50 1. 28	1. 48 1. 23
ビタミンB ₂ (補助食品:再掲)	mg mg	0. 22	0.90	0.02	0.39	0. 19	0. 17	0. 23	0. 39	0. 26	0. 20	0. 24
ビタミンB。(強化食品:再掲)	mg	0. 22	0.00	0.02	0. 39	0. 19	0. 17	0. 23	0. 00	0. 20	0. 20	0. 24
ナイアシン	mgNE	16.6	8. 3	12. 9	16.5	16. 9	17. 6	17. 5	18. 9	18. 7	16. 2	17. 7
ビタミンB。	mg	1. 65	0.74	1. 12	1. 68	1, 63	1, 38	1, 59	1. 78	1. 83	2. 25	1. 78
ビタミンB。(通常の食品:再掲)	mg	1. 22	0. 73	1. 08	1. 23	1. 17	1. 17	1. 20	1. 32	1. 38	1. 30	1. 27
ビタミンB。(補助食品:再掲)	mg	0. 42	0.00	0. 03	0. 44	0. 44	0. 20	0. 37	0. 46	0. 44	0. 92	0. 50
ビタミンB。(強化食品:再掲)	mg	0. 01	0.00	0.00	0. 01	0. 02	0. 01	0. 01	0. 00	0. 01	0. 02	0. 01
ビタミンB ₁₂	μд	7. 8	4. 2	6. 0	7. 5	7. 1	6.8	7. 6	8. 6	9. 6	9. 2	8. 3
葉酸	μд	306	162	246	290	277	283	288	322	367	369	325
パントテン酸	mg	5. 85	4. 23	6. 39	6. 78	5. 59	5. 69	5. 62	5. 88	6. 20	5. 91	5. 85
ビタミンC	mg	105	55	83	108	92	85	87	115	135	131	111
ビタミンC (通常の食品:再掲)	mg	91	51	72	75	77	73	75	98	121	119	98
ビタミンC (補助食品: 再掲)	mg	9	0	3	24	4	4	8	15	10	11	9
ビタミンC (強化食品:再掲)	mg	5	4	9	9	10	7	4	2	3	1	4
コレステロール 食物繊維総量	mg	351 14. 2	244	352 13. 3	467	369 12. 6	365 12. 9	351	369 14. 7	353 16. 9	317	352 14. 8
良物繊維総重 うち水溶性	g g	3.4	8. 6 2. 2	3. 4	13. 2 3. 3	3.0	3. 1	13. 2 3. 1	3.5	3. 9	16. 5 3. 9	14. 8 3. 5
うち不溶性	g g	10.8	6. 4	9.9	10.0	9. 5	9.8	10. 0	11. 2	12. 9	12. 6	11. 3
脂肪エネルギー比率	%	25. 0	27. 8	29. 5	28. 4	26. 9	26. 2	25. 1	24. 5	22. 6	21.5	24. 1
炭水化物エネルギー比率	%	60. 5	58. 2	56. 1	57. 1	58. 9	59.8	60. 6	60. 9	62. 5	63. 4	61.3
												52. 3
表中の「通常の食品」「強化食品」「補助食品」は次のとおりである。 通常の食品:通常の食品からの摂取 強化食品の強化分:通常の食品に強化されている部分からの摂取 (例:カルシウム強化牛乳、鉄強化ヨーグルトなどの強化分												
補助食品												

補助食品:顆粒、錠剤、カプセル、ドリンク状の製品からの摂取 補助食品:顆粒、錠剤、カフセル、ドリンク状の製品からの摂取

表11-3 栄養素等摂取量(1日当たり平均)(女性)-性・年齢階級別-

		総数	1- 6歳	7-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上	(再掲)20歳以上
調査人数	人	4, 721	245	403	192	361	661	570	681	762	846	3, 881
エネルギー	kcal	1, 708	1, 270	1, 871	1, 873	1, 684	1, 725	1, 719	1, 774	1, 759	1, 613	1, 711
たんぱく質	g	64. 2	44. 7	67.7	68. 3	62. 9	62. 5	63. 1	68. 1	69. 1	62. 5	64. 9
うち動物性	g	34. 4	25. 9	39. 1	40. 4	34. 8	32. 8	34. 0	35. 9	36. 0	32. 0	34. 2
脂質	g	51. 3	42. 2	63. 2	65. 4	55. 6	54. 4	53. 9	52. 7	47. 8	40. 7	49. 9
うち動物性	g	25. 3	22. 4	34. 1	33. 1	27. 2	26. 3	26. 4	24. 6	23. 4	20. 0	24. 2
炭水化物	g	239. 7	174. 7	251.6	245. 4	223. 2	235. 4	233. 1	248. 2	256. 7	244. 1	242. 3
食塩 (ナトリウム×2.54/1,000)	g	9. 9	5. 9	9.0	9.5	9.4	9.6	9.9	10.8	10. 9	10. 4	10. 3
カリウム	mg	2, 225	1, 455	2, 145	2, 052	1, 913	2, 018	2, 088	2, 425	2, 613	2, 401	2, 290
カルシウム	mg	523	421	623	493	445	474	466	542	580	553	520
カルシウム(通常の食品:再掲)	mg	514	420	622	489	441	469	459	533	570	535	510
カルシウム(補助食品:再掲)	mg	5	1	1	0	0	3	4	6	8	12	6
カルシウム(強化食品:再掲)	mg	3	1	1	4	4	2	3	3	3	6	4
マグネシウム	mg	234	144	216	216	204	219	224	256	274	248	242
リン	mg	934	683	1, 033	955	875	895	898	984	1, 010	925	938
鉄 (活曲の金甲・五根)	mg	7.6	4. 5	6.6	7.2	7.1	7.5	7.1	8. 3	9. 0	8.1	8. 0
鉄(通常の食品:再掲) 鉄(補助食品:再掲)	mg	7. 5	4. 5	6.5	7. 2	7.0	7.0	7.0	8. 2	8. 7	8.0	7. 8
	mg	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.5	0.1	0.1	0. 2	0.0	0. 2
鉄(強化食品:再掲) 亜鉛	mg mg	0. 0 7. 5	0. 0 5. 4	0. 1 8. 2	0. 0 8. 2	0. 0 7. 5	0. 0 7. 4	0. 0 7. 3	0. 0 7. 7	0. 0 7. 8	0. 0 7. 2	0. 0 7. 5
卸卸卸卸卸卸卸卸卸卸卸卸卸卸卸卸卸卸卸卸卸卸卸卸卸卸卸卸卸卸卸卸卸卸卸卸卸卸卸	mg	1.08	0. 67	1. 03	1. 03	1.00	1. 02	1. 02	1. 16	1. 23	1. 15	1. 11
ビタミンA (レチノール当量)	μ gRE	591	407	606	561	627	529	519	612	695	617	603
ビタミンD	μg	7. 2	3. 5	4.8	6. 1	6. 7	5. 6	7. 1	8. 5	8. 9	8.4	7. 7
	mg-α-TE	8. 8	4. 5	6. 3	6. 9	6. 5	8. 3	8. 9	8. 9	9. 8	11.8	9. 4
ビタミンE (通常の食品:再掲)	mg-α-TE	6. 6	4. 5	6. 3	6. 9	6. 3	6. 4	6. 4	7. 4	7. 3	6. 5	6. 8
	mg-α-TE	2. 1	0. 0	0.0	0.0	0. 2	1.6	2. 4	1. 3	2. 5	5. 2	2. 5
 ビタミンE (強化食品:再掲)	mg-α-TE	0. 1	0. 0	0.0	0.0	0.0	0. 3	0.0	0. 2	0. 0	0.0	0. 1
ビタミンK	μд	230	115	174	197	198	212	201	261	291	266	245
ビタミンB	mg	1.50	0. 58	1. 19	0. 95	1. 05	1. 19	1. 27	1.48	1.88	2. 30	1. 62
ビタミンB ₁ (通常の食品:再掲)	mg	0.81	0. 58	1. 09	0. 89	0. 80	0. 78	0. 80	0.82	0.84	0. 74	0. 80
ビタミンB ₍ (補助食品:再掲)	mg	0. 68	0.00	0. 10	0. 05	0. 25	0. 40	0. 45	0. 65	1. 02	1. 55	0. 81
ビタミンB ₁ (強化食品:再掲)	mg	0. 01	0.00	0.00	0.00	0. 01	0. 00	0. 02	0.00	0. 01	0. 01	0. 01
ビタミンB ₂	mg	1. 46	0. 82	1. 33	1. 27	1. 39	1. 41	1. 28	1.56	1.57	1. 76	1. 52
ビタミンB₂(通常の食品:再掲)	mg	1. 12	0. 82	1. 24	1. 20	1.06	1. 06	1. 05	1. 18	1. 21	1. 13	1. 13
ビタミンB _。 (補助食品:再掲)	mg	0. 33	0.00	0. 09	0. 07	0. 33	0. 35	0. 22	0. 38	0. 34	0. 62	0. 39
ビタミンB,(強化食品:再掲)	mg	0. 01	0.00	0.00	0.00	0. 01	0. 01	0. 01	0.00	0. 02	0. 01	0. 01
ナイアシン	mgNE	13. 6	7. 6	11.5	13. 3	13. 2	13. 3	14. 1	15. 2	15. 4	13. 5	14. 2
ビタミンB。	mg	1. 69	0. 67	1. 12	1. 16	1. 25	1. 45	1. 35	1.66	2. 21	2. 52	1. 84
ビタミンB ₆ (通常の食品:再掲)	mg	1.04	0. 67	0. 98	1. 01	0. 95	0. 96	0. 99	1. 12	1. 21	1. 10	1. 07
ビタミンB。(補助食品:再掲)	mg	0. 64	0.00	0. 14	0. 13	0. 29	0. 48	0. 34	0. 54	0. 98	1. 41	0. 75
ビタミンB。(強化食品:再掲)	mg	0. 01	0.00	0.00	0. 01	0. 01	0. 01	0. 01	0.00	0. 02	0. 01	0. 01
ビタミンB ₁₂	μg	6. 4	3. 4	5. 6	5. 2	6. 5	5. 2	5. 7	7. 4	8. 0	6. 9	6. 7
葉酸	μд	292	158	236	249	259	253	262	328	363	337	308
パントテン酸	mg	5. 12	3. 82	5. 80	5. 34	4. 84	4. 89	4. 83	5. 31	5. 51	5. 10	5. 12
ビタミンC	mg	120	55	79	91	105	95	112	144	159	142	130
ビタミンC (通常の食品:再掲)	mg	99	52	73	79	76	73	82	119	138	121	106
ビタミンC (補助食品:再掲)	mg	16	2	2	3	12	18	25	19	20	20	20
ビタミンC (強化食品:再掲)	mg	4	1	4	9	17	4	5	6	1	1	5
コレステロール	mg	299	234	334	382	317	296	311	309	297	265	296
食物繊維総量	g	13. 7	8. 1	12. 4	12. 1	12. 1	12. 5	12.5	15. 2	16. 6	15. 3	14. 3
うち水溶性	g	3. 3	2. 0	3. 1	2. 9	3. 0	3. 1	3. 0	3. 6	3. 9	3. 6	3. 4
うち不溶性	g	10. 4	6. 0	9. 2	9. 2	9. 0	9. 4	9. 4	11. 6	12. 6	11.7	10. 9
脂肪エネルギー比率	%	26. 5	29. 2	30. 2	30.8	29. 1	27. 9	27. 9	26. 4	24. 1	22. 3	25. 8
炭水化物エネルギー比率	%	58. 4	56. 8	55. 2	54. 5	55. 9	57. 4	57. 3	58. 2	60. 1	62. 3	59. 0
動物性たんぱく質比率	%	51.8	55. 2	56.9	57. 4	53.0	50.9	52. 4	50. 9	50. 1	48. 9	50. 7

表中の「通常の食品」「強化食品」「補助食品」は次のとおりである。

通常の食品:通常の食品からの摂取

強化食品の強化分:通常の食品に強化されている部分からの摂取

(例:カルシウム強化牛乳、鉄強化ヨーグルトなどの強化分

補助食品:顆粒、錠剤、カプセル、ドリンク状の製品からの摂取

表12 食品群別摂取量(1日当たり平均) 一性・年齢階級別一

(g)

Г		総数	1- 6歳	7-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上	(再掲)20歳以上
	調査人数(人)	8, 885	488	795	393	665	1, 201	1, 107	1, 268	1, 426	1, 542	7, 209
	穀類	445. 7	264. 4	424. 1	513. 1	455. 0	476. 2	465. 1	453. 3	461.2	434. 5	456. 6
	いも類	56. 3	37. 6	60. 5	55. 4	54. 5	47. 3	55. 8	57. 0	61.8	62. 8	57. 2
	砂糖・甘味料類	6. 7	3. 7	6. 0	6. 5	6. 1	6. 1	6. 0	7. 3	7.7	8. 2	7. 0
	豆類	56. 0	28. 4	41. 3	43. 1	49. 4	47. 9	51.0	64. 5	71.1	67. 1	60. 1
	種実類	2.0	0.7	1.8	1. 2	1.3	1.4	1.3	2. 4	3.1	2.7	2. 2
	野菜類	276. 7 92. 2	140. 0 50. 0	243. 7 74. 0	267. 6	248. 5	251. 3	265. 7	301. 9 98. 5	334. 1	305. 5	290. 1
	うち緑黄色野菜 果実類	111.6	109.0	95. 0	79. 7 85. 1	74. 2 77. 0	84. 6 66. 3	81. 8 71. 3	125. 7	114. 1 161. 9	113. 6 148. 7	97. 7 115. 0
	きのこ類	16.0	7.8	13. 1	14. 7	15. 5	14. 7	14.3	18. 5	19.9	17. 5	17. 0
総数	海草類	11. 4	5. 8	9.3	10. 3	8. 6	10. 0	10. 8	12. 2	13. 5	14. 9	12. 1
	魚介類	80. 2	35. 9	53. 1	60. 9	69. 6	65. 1	74. 2	98. 6	104. 6	96. 1	87. 2
	肉類	82. 6	61.8	102. 2	140. 0	105. 8	102. 2	96. 8	77. 2	63. 8	51. 0	78. 8
	卵類	35. 6	27. 2	35. 1	50. 6	37. 6	36. 3	35. 9	36. 8	35. 3	32. 2	35. 4
	乳類	123. 9	199. 3	307. 1	160. 5	88. 8	94. 1	83. 9	92. 5	100.3	111.1	96. 6
	油脂類	10. 2	7. 9	11. 0	14. 8	12. 3	12. 2	11.5	10. 9	8. 9	6. 7	10.0
	菓子類	26. 3	35. 8	43. 6	34. 5	27. 6	23. 3	23. 7	24. 7	21.3	21. 9	23. 3
	嗜好飲料類	634. 4	233. 8	294. 0	447. 9	586. 0	716. 2	744. 1	789. 6	759. 7	618. 9	709. 2
	調味料・香辛料類	93. 0	46. 1	75. 2	85. 6	92. 3	102. 6	102. 7	103.8	103. 4	86. 1	98. 5
	補助栄養素・特定保健用食品	15. 8	10. 4	7. 7	13. 7	15. 2	13. 8	13. 6	20. 2	19.5	18. 7	17. 2
	調査人数(人)	4, 164	243	392	201	304	540	537	587	664	696	3, 328
	穀類	518. 2	287. 9	460. 9	615. 4	555. 1	570. 0	543.8	534. 5	535. 2	496. 6	535. 9
	いも類	58. 6	40. 7	64. 2	58. 6	61.5	48. 0	57. 8	58. 3	62. 1	66. 1	59. 2
	砂糖・甘味料類	6.8	4. 0	6. 0	6. 4	6. 3	6. 2	6. 6	6. 8	7. 6	8. 3	7. 1
	豆類	57. 2	29. 6	41. 9	43. 6	50. 6	47. 7	54. 4	64. 8	71.9	71. 3	61.8
	種実類	2. 0	0. 5	2. 0	1. 2	1.3	1. 3	1.3	2. 3	3. 0	3. 0	2. 2
	野菜類	283. 3	140. 7	248. 7	284. 2	254. 8	258. 5	274. 0	304. 3	338. 3	321.0	297. 7
	うち緑黄色野菜	91.8	48. 7	76. 4	82. 5	75. 6	85. 6	84. 9	91.5	110. 4	117. 9	97. 3
	果実類	100.1	110.7	93. 9	80. 2	70. 7	57. 9	60. 5	99. 2	144. 9	139. 9	101.3
男性	きのこ類	16. 1	7.6	13.5	12. 8	14. 0	15. 3	13. 8	17. 5	20.8	19. 3	17. 2
	海草類 魚介類	11. 8 88. 8	7. 0 38. 4	10. 6 56. 0	10. 4 64. 7	10. 1 76. 8	9. 2 73. 7	11. 9 84. 8	12. 0 109. 9	13. 0 116. 1	15. 6 108. 1	12. 3 97. 8
	肉類	95. 9	62. 6	108.8	166. 1	121. 9	126. 1	111.5	92. 2	71. 9	59. 3	92. 6
	卵類	38. 6	27. 6	36. 5	53. 6	41. 3	40. 1	36. 7	41. 1	38. 7	35. 8	38. 7
	乳類	121. 7	207. 7	330. 1	178. 6	85. 5	71. 1	71. 7	76. 6	97. 2	113. 0	87. 4
	油脂類	11. 4	8. 4	11. 8	15. 8	14. 1	13. 8	12. 7	12. 3	10. 2	7. 2	11. 3
	菓子類	23. 1	37. 4	41. 9	36. 6	24. 3	18. 0	18. 4	17. 4	18. 1	20. 0	19. 0
	嗜好飲料類	703. 7	241. 7	315. 9	467. 5	668. 0	840. 5	812. 5	884. 3	861.4	674. 4	797. 4
	調味料・香辛料類	102. 7	48. 2	77.7	94. 3	103. 3	113. 6	119. 9	116. 2	117. 0	91.5	110. 2
	補助栄養素・特定保健用食品	16. 0	10. 3	8. 4	14. 5	15. 7	14. 0	13. 9	23. 6	18. 1	17. 6	17. 4
	調査人数(人)	4, 721	245	403	192	361	661	570	681	762	846	3, 881
	表類	381. 7	241. 1	388. 3	406. 0	370. 8	399. 5	390. 9	383. 4	396. 7	383. 4	388. 7
	いも類	54. 3	34. 5	56. 9	51.9	48. 7	46. 7	53. 9	55. 8	61.5	60. 1	55. 4
	砂糖・甘味料類	6. 7	3. 5	5. 9	6. 5	5. 9	6. 1	5. 4	7. 7	7. 7	8. 1	7. 0
	豆類	54. 9	27. 3	40. 8	42. 6	48. 4	48. 2	47. 8	64. 3	70. 3	63. 6	58. 7
	種実類	2. 0	0.8	1. 7	1. 2	1. 2	1. 5	1.3	2. 5	3. 1	2. 5	2. 2
	野菜類	270. 9	139. 4	238. 9	250. 4	243. 2	245. 4	257. 9	299. 9	330. 4	292. 6	283. 6
	うち緑黄色野菜	92. 5	51.4	71. 7	76. 8	73. 0	83. 8	78. 9	104. 5	117. 4	110.0	98. 0
	果実類	121. 7	107. 3	96.0	90.1	82. 2	73. 1	81. 4	148. 5	176. 7	155. 9	126. 8
女性	きのこ類	16.0	8.0	12.7	16. 7	16. 8	14. 3	14. 7	19.4	19.1	16.0	16.8
	海草類 魚介類	11. 1 72. 6	4. 5 33. 4	8. 0 50. 4	10. 3 56. 9	7. 3 63. 6	10.5	9. 8 64. 2	12. 4 88. 9	14.0	14. 2	11. 9 78. 2
	肉類	72. 6	60. 9	95. 8	112. 7	92. 3	58. 1 82. 7	64. 2 83. 1	88. 9 64. 2	94. 5 56. 8	86. 3 44. 3	78. 2 66. 9
	卵類	32. 9	26. 9	33.7	47. 6	92. 3 34. 5	33. 1	35. 1	33. 1	32. 3	29. 2	32. 5
	乳類	125. 9	191. 0	284. 8	141.5	91.7	112. 8	95. 4	106. 2	103. 1	109. 5	104. 5
	油脂類	9. 2	7. 4	10.3	13. 8	10. 8	11. 0	10. 4	9. 8	7. 8	6. 2	9.0
	菓子類	29. 2	34. 3	45. 2	32. 3	30. 4	27. 7	28. 7	31. 1	24. 1	23. 5	27. 1
	嗜好飲料類	573. 2	225. 9	272. 7	427. 3	516. 9	614. 7	679. 6	707. 9	671.1	573. 3	633. 5
	調味料・香辛料類	84. 4	44. 1	72. 8	76. 5	83. 1	93. 7	86. 6	93. 1	91.5	81. 7	88. 5
	補助栄養素・特定保健用食品	15. 7	10. 6	7. 1	12. 8	14. 8	13. 7	13. 4	17. 3	20. 7	19. 6	17. 1

補助栄養素・特定保健用食品:顆粒、錠剤、カプセル、ドリンク状の製品及び特定保健用食品からの摂取